



滑川市立滑川中学校 1学年だより
第11号
平成26年3月6日(木)発行

春の暖かさが少しずつ感じられる3月を迎えました。外で行う部活動もグラウンドでの活動が再開されています。生徒たちは、今年度最後の学年末考査を終え、気持ちが楽になっていることと思います。現在は、3月17日(月)の卒業式に向けて、気持ちよく3年生を送ろうと、身なりを整えたり校内美化活動に取り組んだりしています。また、滑中の伝統である合唱活動にも力が入ってきました。卒業式では「大切なもの」と「大地讃頌」の2曲を歌います。卒業式は、学校の儀式の中で最も大切な式であると同時に、この1年間の自分のやってきたことや考えてきたことを振り返り、2年生に向かってその経験を生かそうと前向きになることができる瞬間です。また、自分が過ごしてきたクラスや友達、陰ひなたになり自分を導いてくれる家族がいることを再認識し、「人」としての成長を実感できる瞬間でもあります。1年生は1年生らしく、3年生の先輩方に「ありがとうございました」の感謝の気持ちを込めて、卒業式に臨んでもらいたいと願っています。

春休み前のこの時期は、子どもたちの気持ちが解放的になってきます。2年生への目標をもって、元気に様々な活動に取り組んでもらいたいと思います。ご家庭でも心身両面からの目配り、気配り、励ましをよろしくお願いいたします。また、この一年間保護者の方々には、お子様の初めての中学校生活で不安や心配が多々あったかと思えます。1年生担当教師も精一杯努力してまいりましたが、至らぬ点もあったと思えます。紙面ではありますが、保護者の方々の一年間のご協力に感謝申し上げます。



3月の行事予定

- 11日(火) 県立高校入試
- 12日(水) "
- 14日(金) 卒業式予行、同窓会入会式
- 17日(月) 卒業式
- 18日(火) 県立高校合格発表
- 20日(木) 給食終了
- 24日(月) 修了式

4月の行事予定

- 4日(金) 始業式
- 8日(火) 入学式
- 9日(水) 給食開始
- 10日(木) 中教研学力調査(国、理、英)
- 11日(金) 中教研学力調査(社、数)
- 19日(土) 授業参観、育成会総会
- 21日(月) 振替休業日

お願い



ラインなどSNSについて

25日(火)に開かれた学年懇談会でもお願いしましたが、ライン(無料コミュニケーションツール)などによる生徒同士のトラブルをよく耳にします。携帯電話のみならずipad touchなどでもラインは可能です。使い方によっては便利なものかもしれませんが、他人を誹謗中傷したり無断で写真の載せたりすると犯罪になる可能性があります。使用される場合は、家族の話合いで約束を決めるなど使い方の確認をお願いします。

先輩からの売買

進級、卒業などを機に、不要になったり体格に合わなくなったりした制服や学用品の売買が心配されます。トラブルのもととなるので、生徒同士での物品のやりとりは、たとえお金の出入りなしでも行わないように指導しています。ご理解のほどお願いいたします。

予餞会がありました



テーマ「3年生に贈ります。感謝・エール・笑顔という名のプレゼント」

それぞれがお世話になった3年生のために、約1ヶ月間総合的な学習の時間や放課後を利用して、先輩方への感謝の気持ちを形にしました。役者、合唱、大小道具、千羽鶴・飾り付け、スライドの担当に分かれて作業を行いました。当日は緊張の中にも元気さを出して頑張ってくれました。

《生徒感想》

僕たちが予餞会で学んだことは大きく二つあります。一つ目は、仲間と協力する楽しさです。一人一人に与えられた仕事があり、その仕事を責任をもってやりとげ、それによって最高の出し物を作り上げる。このことからその楽しさというものを学ぶことができたのだと思います。二つ目は、一人一人の役割が大事だということです。だれか一人が欠けることで、仕事が遅れたり仕事ができなかったりすることが分かり、自分の役割の重要性を分かることができたと思います。この二つのことを、今回の予餞会で学ぶことができたので、今後の学校生活につなげていきたいと思います。



予餞会では1年生全員が「3年生に贈ります。感謝・エール・笑顔という名のプレゼント」のスローガンのもと3年生に喜んでもらおうと頑張る姿が見られました。予餞会の練習時間では、それぞれの係が3年生に喜んで笑ってもらおうと工夫していました。そのみんなの努力が予餞会の成功へとつながったのだと思います。予餞会の当日は、みんな緊張しているのが分かりました。劇は少しアドリブが入ったりしていつもの練習より良かったと思いました。3年生の笑い声が聞こえたときはとても嬉しかったです。



《役者》

予餞会では、一つの劇を作り上げるのに多くの時間を要しました。最初の頃はやる気に欠けており、不安が募るばかりでした。その頃はあまり追い詰められていなかったのが、心のどこかに余裕があったのだと思います。しかし、先生方の協力によりみんながやる気を出し始めました。そしてだんだんおもしろく、見応えのある劇に仕上がっていきました。

迎えた本番当日、放課後や昼休みにも練習したかいがあって、すごく良い劇を3年生に見てもらえたと思います。滑川中のリーダーとして今までお世話になった先輩方が私たちの劇を見て楽しんでおられるのを見てると頑張ってきたよかったなと思いました。何より3年生に感謝の気持ちを伝えられたと思うし、喜んでもらったことがうれしかったです。



私たち1年生にとって初めての予餞会でした。みんな一人一人が自分の役割を果たしていたと思います。その中でも役者担当にはとても大きな成長が見られました。最初の練習の時は、3年生を送るという意識が低いせいか、ふざけて遊んでいる人や話をしている人が多く見られました。しかし、日が近づくにつれて昼休みや放課後に練習したり、台本にはないおもしろい台詞や振り付けを相談して付け加えたりなど、次第に意識が高まってきました。そして本番は、一人一人の意識によって素晴らしい作品が出来上がったと思います。3年生の先輩方に、中学校生活3年間の思い出を振り返ってもらえるような劇ができたと思います。



《合唱》

私は合唱のリーダーとして最高の合唱ができるように頑張りました。私たちが歌ったのは、ゆずの「友～旅立ちの時～」でした。69人をまとめられるか、初めはとても心配でした。しかし、練習が始まってみると指揮者や各パートリーダーが協力してくれ、うまく合唱隊をまとめることができました。とても難しい曲のため音を取るのも大変でリーダーが放課後に残って練習したり、声が出ていなかった男声パートは昼休みに練習をしたりしました。予餞会当日の声出し練習になっても、一人一人の声が小さく、音もしっかり伸びていませんでした。リーダーも歌いすぎたり、指導しすぎたりして声がかれていました。しかし、リーダーの頑張りがみんなに伝わったのか、最後の通し練習の時、今までで一番良い合唱を歌うことができました。

予餞会本番、緊張していたのかテンポが速くなってしまい、練習の時ほど良い合唱はできませんでした。しかし、お世話になった3年生に感謝の気持ちを伝えることができたと思います。自分たちも合唱を通して絆が深まったので良かったです。



《大・小道具》

大道具では、主に劇の背景を作りました。劇の題材は先輩方の3年間のエピソードでした。そのため、場面転換が多く、背景をたくさん作らなければならぬので大変でした。絵は当時の思い出が自然とよみがえってくるように、写真にできるだけ近づけて描きました。そのため、思ったより時間がかかってしまい、放課後の時間も使ってみんな頑張りました。初めは居残りを嫌がっていた人たちも次第に協力してくれて、全員が良くしようという意識をもって取り組めたことがどの絵も完成したことにつながったのではないかと思います。

予餞会当日、大道具は劇の背景を持つためにステージ袖で待機していました。役者の演技をそばで見ていると、大勢の人の笑い声が聞こえてきて、実際客席は見えなくても、3年生の先輩方の笑顔が頭に浮かび、とても嬉しかったです。今までの活動で、全員が自分の役目をしっかりとこなしてきたからこそ、見ている方だけでなく届ける方も心温まる劇を作ることができたのだと思いました。



《千羽鶴・飾り付け》



私は鶴を折ったことがなく、慣れない作業で先輩に感謝の気持ちを伝えられるのか心配でした。しかし、時間をかけて鶴を一羽一羽折ることで、その鶴に思いを込められる事に気付きました。多少時間がかかってもしっかりと折りました。私は千羽鶴を作ること自体が初めてだったので、糸通しも初めてでした。この仕事は慣れない仕事で時間がかかりましたが、一本一本思いを込めて作ることができました。千羽鶴を3年生に渡すときは「ありがとうございました」と伝えることができました。

私達は予餞会を盛り上げるため、そして先輩方に目に見える形で気持ちを伝えるため、飾り付け隊として取り組みました。飾り付けは三ヶ所行いました。一つ目は、職員室前の窓に「今までありがとうございました」という言葉を3階からでもよく見えるように太字で書き、台紙の画用紙もカラフルにして窓に貼りました。二つ目は、入退場の時に通る体育館の入り口です。未来に花を咲かせて欲しいという思いを込めて、花紙で一つ一つ折った花を飾りました。その上には、一年生が先輩に贈る歌「友～旅立ちの時～」の歌詞を書き掲示しました。三つ目は、3年生がよく使う階段です。手すりに紙テープを巻いたり、階ごとに英語でメッセージを貼ったり、お花やりボンで壁を飾り付けたりして、明るくお見送りしたいという気持ちを表しました。一つ一つ先輩方を思い、丁寧に作ったので少しでも気持ちが伝わっていれば嬉しいです。



《スライド》



僕は初めての予餞会で、3年生の先輩方に笑って、泣いて、感動してもらったために予餞会があるのだと分かりました。僕の役割は、1年生の出し物の最後に流すスライドショーを作成する事でした。写真を選ぶ作業から始まったのですが、最後に流すという意識を忘れずに写真を選びました。その後、構成を考え、写真をすべてつなげました。最後にスライドの題名を入れる作業をしたのですが、なかなかまとまらず大変でした。しかしその時も3年生を感動させるにはどのような言葉がいいかを考えながら決めました。

予餞会当日、3年生の先輩方にはスライドショーが始まったとき、3年間の思い出を思い起こすような目でスクリーンを見ていただいて、制作したばかりたちはこの目を見るために今までスライドを作ってきたのだと思いました。この予餞会が心温まる会となって良かったです。

